

山形地区 研究活動概要（令和4年度）

グループ名 (代表者)	研究の柱	研究内容
グループ1 (山口 てるみ)	初任者の資質向上を考える	<ul style="list-style-type: none"> ① 2年目の部員が各テーマ毎にまとめ発表する ② 主査級以上の部員による各種事例紹介 ③ 部員が作成した便利なシステムの紹介と研修
グループ2 (鈴木 浩美)	<p>A 班 財務における事務改善を考える</p> <p>B 班 引継書の検討修正</p>	<p>A 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 部会員に事務改善に関するアンケートを実施し、集約した要望を市教委に依頼することにより事務改善を図っていく ② 1月の事務執行説明会時に、市教委より要望に対する回答をいただく <p>B 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 年度末に人事異動を経験した部会員に、昨年度作成した引継ぎについて意見等を取りまとめるためのアンケートを実施する ② 他地区の引継書を取り寄せ、再検討を行う ③ 昨年度作成した「事務フォルダ」を班員が実際に使ってみて、使用のしかたを検討する ④ 校務システム導入にあたり、情報収集を行う
グループ3 (鈴木 稚文)	情報提供・実務対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育環境の情報発信 ② M i M i ちゃんを見直し、訂正・内容確認、制度や様式の変更への対応 ③ 『おたより見本版12ヶ月』改訂
グループ4 (高橋 由美)	新しい学校事務・教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 共同実施体制の検証 学校間連携・共同実施の年間活動内容をまとめ、各組織の状況を共有して、山形市の望ましい実施内容・方法の具体策を提案する。 県通知「小中学校事務職員の標準的職務表」を関連させた業務組織としての「共同実施」体制を考える。 ② 学校間事務連携実施要項作成 山形市で統一された中学校区毎の「学校間事務連携実施要項（案）」を作成する ③ 共同を進める事務についての内容検討 共同を進める事務についての内容を検討し、全中学校区で生かせるような基本の「学校事務連携・共同実施計画書」を作成する